

令和4年度の取組み実績について

1 民間事業者のアイデアを活用した普及啓発

1) 4コマ漫画による普及啓発 新規

ユニバーサルデザインに関する知識や関心が薄い人達にもわかりやすい4コマ漫画(4種類、英語訳付き)を制作し、様々な媒体を用いて、普及啓発を実施した。

(1) 新聞 (西日本新聞)

- ・日時 / 令和4年10月21日 (金)
- ・掲載範囲 / 約1/3 ページ、カラー



(2) Web サイト (天神サイト)

- ・日時 / ① 令和4年10月20日 (木)
- ② 令和4年11月25日 (金)
- ③ 令和4年12月20日 (火)

(3) 壁面広告 (天神ソラリアプラザ1階ゼファ警固公園側)

- ・日時 / 令和4年12月16日 (金) ~ 29日 (木) ※14日間
- ・掲載範囲 / 縦 2m30cm × 横 1m45cm



(4) テレビコマーシャル (RKB 毎日放送) 15秒動画

- ・期間 / 令和5年1月16日 (月) ~ 22日 (日) ※7日間
- ・放映回数 / 全11回

(5) Web バナー広告 (Yahoo! JAPAN! トップページ) 15秒動画

- ・期間 / 令和4年12月21日 (水) ~ 25日 (日) ※5日間
- ・最低表示回数 / 222,000回

4コマで学ぼう Learning with Comics! Universal Design
ユニバーサルデザイン

Episode1 エピソード1
いつもの場所
The Usual Spot

伝えると伝わるは違う 伝わってこそ 本当のやさしさ
これも福岡市が目指すユニバーサル都市です。
There's a difference between communication and comprehension.
True kindness can only be comprehended when it is comprehended.
This is also the universal city Fukuoka City aims to be.

4コマで学ぼう Learning with Comics! Universal Design
ユニバーサルデザイン

Episode2 エピソード2
思いやり
Compassion

年齢、性別や国籍、障がいの有無などに関わらず、
誰もが思いやりをもち、すべての人にやさしいまち
これも福岡市が目指すユニバーサル都市です。
A city that is compassionate and friendly to all, regardless of age,
gender, nationality or disabilities.
This is also the universal city Fukuoka City aims to be.

4コマで学ぼう Learning with Comics! Universal Design
ユニバーサルデザイン

Episode3 エピソード3
自分らしく
Do It Your Way

誰もが自分らしい生き方を選べるまち
これも福岡市が目指すユニバーサル都市です。
A city where everyone can live life in their own way.
This is also the universal city Fukuoka City aims to be.

4コマで学ぼう Learning with Comics! Universal Design
ユニバーサルデザイン

Episode4 エピソード4
安全安心
Safe and Secure

誰もが安全で安心して暮らせるまち
これも福岡市が目指すユニバーサル都市です。
A city where everyone can live safely and securely.
This is also the universal city Fukuoka City aims to be.

2) 「ユニバーサル都市・福岡」PRサポーターによる普及啓発

令和3年度に引き続き、ユニバーサルデザインのことをより多くの市民に知っていただくために任命したPRサポーターの、男女5人組ダンス&ボーカルグループ「バリカタキッズ」に、市内の様々なユニバーサルデザインを取材してもらい、その様子を福岡市の公式YouTubeチャンネル「福岡チャンネル」に掲載し、YouTube、Instagramで発信。



PR動画を6本掲載（各約1分30秒）

- (1) Vol.4 Uni-Voice（ユニボイス）編 <https://youtu.be/QfugVmU-x7Q>
- (2) Vol.5 中学校標準服編 <https://youtu.be/yLo32WqHBCY>
- (3) Vol.6 ごみ袋編 https://youtu.be/CA9AV_nIA-M
- (4) Vol.7 赤ちゃんの駅編 <https://youtu.be/ZEqyhmuB0kI>
- (5) Vol.8 福岡市ホームページ編 <https://youtu.be/BOFzfTqwxck>
- (6) Vol.9 世界水泳ピクトグラム編 <https://youtu.be/USuusCC-DsE>

※ YouTube インストリーム広告を配信（各約20日間、各目安表示回数38,924回）

※ Instagram フィード広告を配信（各約20日間、各目安表示回数326,531回）

令和3年度：PR動画を3本掲載（各約10分）

Vol.1 お出かけ編（おさるのベンチ、地下鉄）

Vol.2 観光・ビジネス編（観光案内所、天神ビジネスセンター）

Vol.3 アクティブ編（総合体育館、インクルーシブな遊び場づくり実証実験）

※ 別途、15秒動画（令和3年度制作）を

Webバナー広告（Yahoo! JAPAN! トップページ）で配信

（期間 / 1ヶ月、最低表示回数 / 418,149回）



3) 「#ユニバーサル都市福岡」投稿キャンペーン

市内にあるユニバーサルデザインを探して写真に撮り、「#ユニバーサル都市福岡」を付けて SNS（インスタグラム又はツイッター）等で投稿するキャンペーンを実施

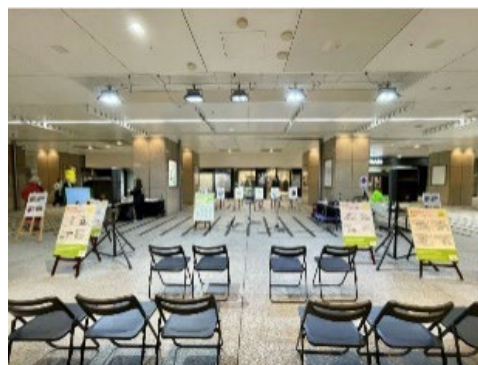
- ・期 間 / 令和4年10月25日（火）～ 令和5年1月15日（日）
- ・応募数 / 投稿者数 91、投稿数 172、写真枚数 410



4) パネル展示イベント

4コマ漫画をはじめ、各企業の取組みなど、ユニバーサルデザインの普及・啓発につながるパネル展示を行うとともに、「ユニバーサル都市・福岡」のロゴをデザインしたカップを用いてドリンクサービスを実施

- ・期 間 / 令和4年11月29日（火）・30日（水）11:00～19:00
- ・場 所 / ソラリアターミナルビル1F ライオン広場



5) ラジオ企画

ラジオ番組内で、市内の企業・団体等のユニバーサルデザインに関する情報を発信

- ・番組名 / 「Top of the Morning」内
- ・時 間 / 毎週火曜日 9:20～（5～7分間）／全4回

放送日	取材先	概要、取材内容
2/7（火）	看護小規模多機能型 居宅介護施設 香風館	「認知症の方にもやさしいデザイン」を取り入れた施設 ○市職員から「認知症の方にもやさしいデザイン」の説明 ○施設のデザインの紹介
2/14（火）	三好不動産	LGBTQフレンドリー企業登録制度 ○LGBTQの支援に向けた企業の取組み紹介
2/21（火）	かしいはま子どもの家 ぽてとはうす	子ども食堂 ○運営団体から取組みの紹介
2/28（火）	福岡きぼう中学校	R4年度に開校した九州唯一の公立夜間中学校 ○教師から取組みの話

6) 「ユニバーサル都市・福岡」公式Instagramの活用

令和2年度開設した公式Instagram (@universal_toshi_fukuoka) を活用し、福岡市の取組みの紹介や、4コマ漫画に関する投稿に加え、AHA 動画（画像が徐々に変化し、いつどこが変わったのかを見つける動画）を制作し投稿。



UNIVERSAL_TOSHI_FUKUOKA

(1) 福岡市の取組みの紹介等 投稿数 52 回



<インクルーシブな子ども広場>



<福岡市文化芸術振興団>

(2) AHA 動画 **新規**

<投稿例>



※ フォロワー数 995 (令和5年3月27日時点)
 (参考) 762 (令和4年3月16日時点)
 517 (令和3年3月26日時点)

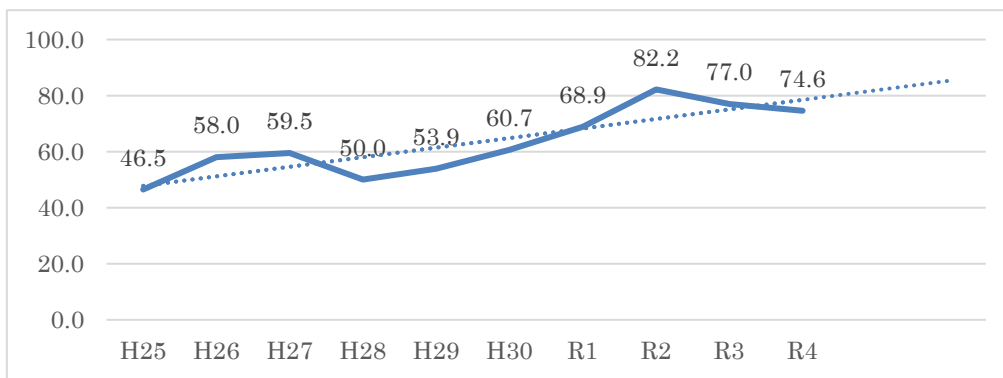
【今後の方向性】

- ユニバーサルデザインの認知度の低い高齢者層にもっと訴求するような普及・啓発の方法を検討する。
- インスタグラムの利用率は、「10～20歳代は70～80% 50歳代以上は10～40%」*であり、ユニバーサルデザインの認知度の比較的高い20歳代以下へ伝わっていることは想定されるが、課題となる高齢者層にはあまり伝わっていないことが想定されることから、インスタグラムの運用継続の可否も含め、方向性を検討する。

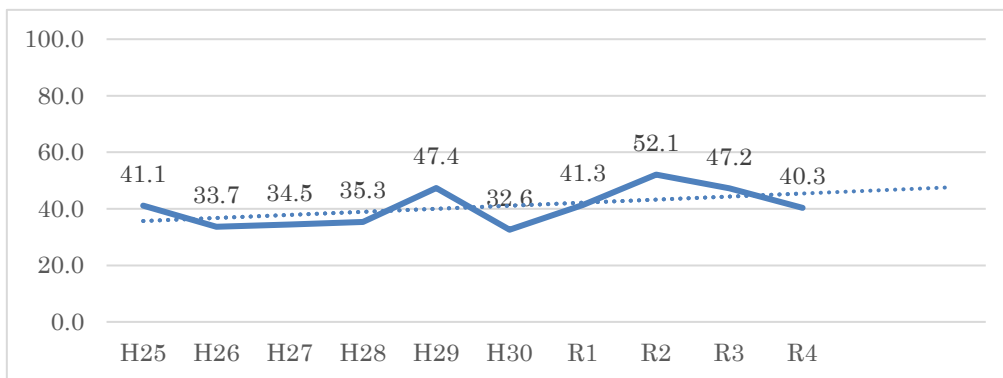
*「令和3年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」(令和4年8月 総務省情報通信政策研究所)

<参考>ユニバーサルデザインの理解度(意味を知っている人) (市政アンケート調査より)

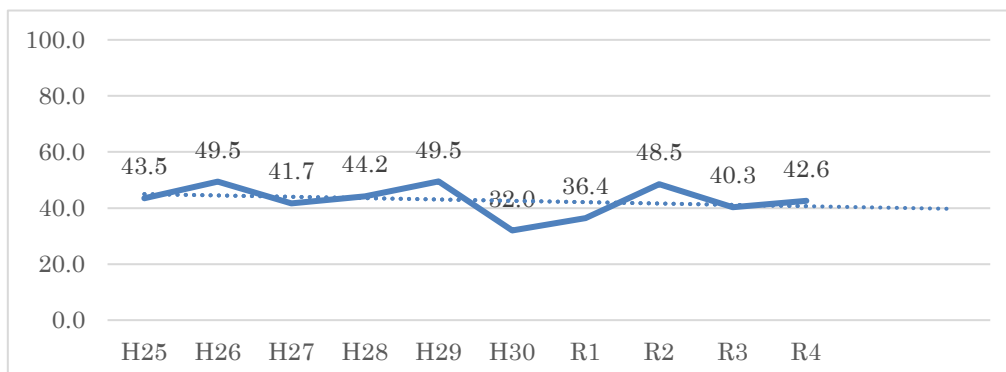
18歳～20歳代



60歳代



70歳代～



2 「ユニバーサル都市・福岡」児童向け副読本の改定

新規

主に小学4年生向けの、ユニバーサルデザインを学ぶための教材(H25年度制作)について、時代に見合った内容にアップデートするため、有識者で構成される改定委員会からアドバイスをいただきながら、全面改定を検討。



〈改定委員会の様子〉



〈脇山小学校での授業見学会の様子〉

【改定委員会:委員名簿】

役職	氏名	職業・所属等
委員長	張 彦芳	九州大学大学院芸術工学研究院(講師)
副委員長	明石 京子	笹丘小学校校長
委員	吉住 寛之	ユニバーサルデザインコンサルタント 代表
委員	永野 正樹	月隈小学校主幹教諭
委員	吉田 美香	脇山小学校教諭
委員	井原 正裕	株式会社あのラボ
オブザーバー	井上 直美	教育委員会 小学校教育課長

【改定委員会:開催状況】

第1回:8/24

第2回:10/19

第3回:12/27

(脇山小学校での授業見学会:2/1)



【今後の方向性】

○使いやすさ、共有のしやすさ、デジタルツールへの依存性の少なさ、情報保障の観点から総合的に勘案して、副読本の改定後のかたちは、Web サイトとする。

- 令和4年度：改定版の素材を制作(PDFベース)
- 令和5年度：素材を基にWebサイトを構築し、いくつかの小学校で試験運用を行い、現場で出た意見をフィードバックして修正し、改定版の副読本を完成
- 令和6年度：市内全域で改定版の運用開始(予定)

3 福岡版ユニバーサルマナー検定の実施

令和2年度・3年度に引き続き、高齢者や障がい者への接し方・配慮のポイントなどについて学ぶことができる福岡市オリジナルの講座「福岡版ユニバーサルマナー検定」を実施した。

(受講者全員がユニバーサルマナー検定3級資格を取得)

(1) 講座内容 ★は福岡市オリジナル講座の特色

① 講義

- ・ 障がいとは何か
- ・ 高齢者や障がい者への向き合い方
- ・ 困っている人を見かけたときのお声がけ方法

★ コロナ下での障がい者の生活と心理

② 演習

★ 市の身近なユニバーサルデザインの事例など

★ 新しい生活様式の中でも実践できるユニバーサルマナー

(2) 開催日程

① 8月28日(日) 10時～12時30分 ※初めて対面で実施

② 9月10日(土) 13時～15時30分

③ 11月19日(土) 10時～12時30分

(令和2年度：全7回実施、令和3年度：全4回実施)

(3) 受講料 5,500円

〔令和2年度：18歳未満：500円、18歳以上：1,000円〕

※受講料の一部を補助

(4) 実績

受講者数：82名

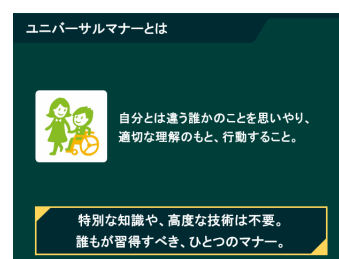
(令和3年度：受講者数230名、令和2年度：受講者数453名)

<受講者の感想> ※抜粋

- ・ 声かけはもちろん、気づきも大事なことだと思った。自分自身もスキルアップしていきたいと思う。
- ・ 具体的な声掛けの言葉やサポートの際の心構えを知ることができたので、今後サポートをする場面が訪れたときに以前よりも自信をもって声掛けや行動ができそうだと感じた。仕事や生活で役立てたい。など

【今後の方向性】

○3年間で765名が資格を取得し、着実に成果が出ている一方で、受講者は年々減少しており、関心のある層の受講は完了したことが考えられる。今後は、さらなる受講者ヘリーチするために、例えば、検定名の頭に“福岡版”とつくことでローカルな資格といったネガティブな印象を与えていることが想定されることから、検定名を変更する等、アップデートを図り、来年度も継続して実施する。



4 市職員研修（eラーニング）の実施

ユニバーサルデザインの考え方や「ユニバーサル都市・福岡」について、全職員を対象としたeラーニングを実施した。

- ① 実施期間 令和5年2月13日 から 令和5年2月28日 まで
- ② 受講率 8,366人/11,725人 (71.4%)
- ③ 研修内容
 - 1) 「ユニバーサル都市・福岡」とは
ユニバーサルデザイン、キャッチフレーズ、ロゴマーク
 - 2) 各所属でできることは
「ユニバーサル都市・福岡」職員行動指針

【今後の方向性】

○eラーニングの実施はあくまで手段であり、目的である職員の理解度向上につながるよう、伝わりやすさの工夫など、手法も含め、しっかりと検討を行い、来年度も継続して実施する。

<参考>令和3・4年度行政監査※

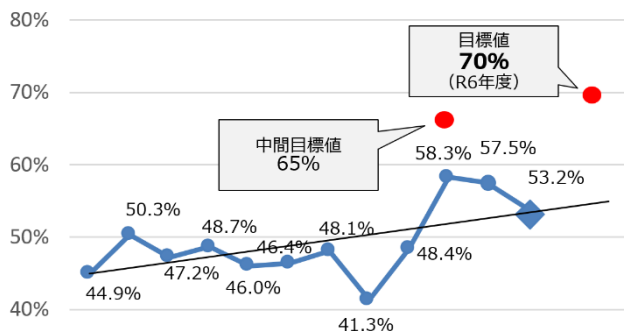
テーマ「本市施設のバリアフリー・ユニバーサルデザインについて」

※福岡市監査基準第3条第1項第2号の規定に基づくもの

5 (参考) 成果指標

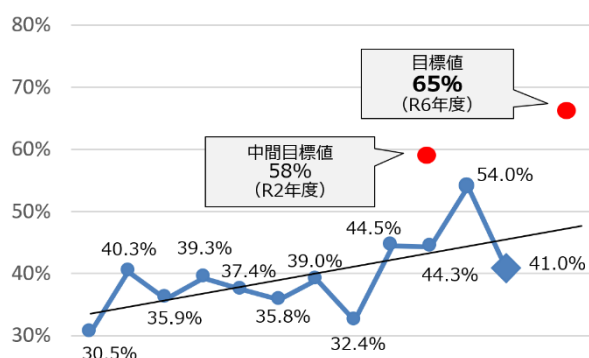
(1) ユニバーサルデザインの概念の理解度

(ユニバーサルデザインという言葉の意味を知っている市民の割合)



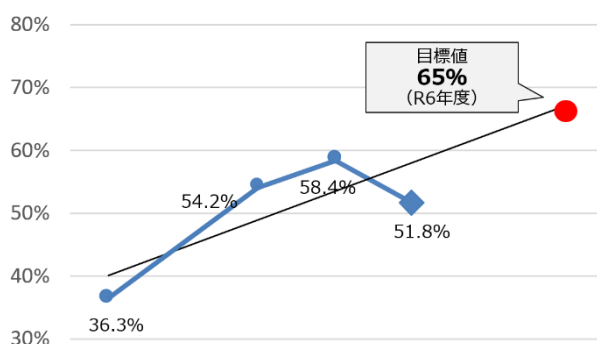
(2) ユニバーサルデザインの取組みへの評価

(ユニバーサルデザインの取組みが進んでいると思う市民の割合)



(3) 「ユニバーサル都市・福岡」のロゴマークの認知度

(「ユニバーサル都市・福岡」のロゴマークを見たことがある市民の割合)



安心して生み育てられる環境づくり

多子世帯(子2人以上)の負担を大幅に軽減すると同時に、
全ての子育て家庭への支援を拡充。

多子世帯への支援

★第2子以降の保育料を要件なく無償化

保育所(認可外含む)・幼稚園の保育料について 23億3,516万円 (こども)
所得制限や同時入所要件を廃止

☆第2子以降の産後ヘルパーの利用回数を倍増

きょうだいが未就学児の場合、 603万円 (こども)
利用上限回数を20回から40回に拡大

☆子育て世帯住替え助成を拡充

所得要件の廃止、子2人以上で助成額を最大25万円へ 1億3,615万円 (住都)

全ての子育て家庭への支援

★おむつと安心定期便の開始

0~2歳の子育て家庭を定期的に見守りながら 11億7,119万円 (こども)
おむつ等をお届け

☆子ども医療費の助成対象を高校生(18歳)まで拡大

通院は1医療機関500円/月、入院は無料 61億1,677万円 (保医)
(R6年1月から)

☆産前・産後ヘルパー、産後ケアの利用料を大幅軽減

ヘルパー派遣の対象に妊婦を追加 1億4,588万円 (こども)
利用料軽減(ヘルパー、訪問型ケア500円/回 等)

☆学校・保育所等の給食費物価高騰分を支援

12億1,240万円 (こども・教委)

サポートを必要とする子どもたちのために

サポートを必要とする子どもたちへの支援を大幅に拡充。

障がいのある子どもの支援

☆障がい福祉サービス利用料を大幅軽減

所得制限を廃止し、未就学児は無償化 1億2,435万円 (こども・福祉)
学齢期は負担上限3,000円/月(R6年1月から)

★医療的ケアが必要な児童生徒への通学支援

医療的ケアが必要な特別支援学校児童生徒への 1,090万円 (教委)
通学支援を試行的に実施

☆子ども食堂に対する助成の拡充

活動年数によらず補助率2/3、 1,771万円 (こども)
助成額上限を10~40万円から15~60万円へ

・小学5年生~中学3年生の習い事を応援

生活保護又は児童扶養手当受給世帯を対象として 4億2,839万円 (こども)
子ども一人当たり月額上限1万円の助成

★親子の愛着形成を促す宿泊・通所プログラム

乳児院において親子宿泊型支援や通所プログラム実施 663万円 (こども)

★親子ショートステイによる子育てサポート

里親家庭や児童養護施設での 1,092万円 (こども)
親子宿泊による育児サポートを実施

★不登校児童生徒等へのオンラインによる支援

不登校児童生徒等に対するオンラインルームの開設や 252万円 (教委)
スクールカウンセラー等へのタブレット配備

教育環境の充実

確かな学力の定着に向けた教育環境の充実を推進。

- ★学習指導員を配置し1人ひとりに寄り添った学習を推進
学習指導員を新たに配置(221人) 7,753万円 (教委)
- ☆中学、高等学校に部活動指導員等を大幅増員
部活動指導員A (110人→222人) 1億8,775万円 (教委)
部活動支援員 (290人→348人)

何歳でもチャレンジできるまち

全世代の健康づくり、介護予防を推進。

福岡100

- ☆人生100年時代に向けた「福岡100」を推進
先導事業(食を通じた多世代交流)の実施とともに、企業等の新たな発想・手法を取り入れたプロジェクトを推進 4,076万円 (福祉)
- ☆介護人材確保の取組みを推進
介護業界のWell-being向上の取組みや介護ロボット導入促進等を実施 3,536万円 (福祉)
- ☆まち中で自然と体を動かす「Fitness Cityプロジェクト」
自然と楽しく体を動かしたくなる仕掛けを展開 6,393万円 (保医・住都・道下)
- ・女性の健康問題に着目した運動習慣の定着
ロコモティブシンドローム(運動器症候群)予防のきっかけづくり 780万円 (保医)
- ☆予防に重点をおいて全世代の歯と口腔の健康を守る
産学官連携により「オーラルケア28(にいほち)プロジェクト」を推進 3,549万円 (保医)

誰もが安心して暮らしやすいまち

障がいの有無や年齢等にかかわらず、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを推進。

インクルーシブな環境づくり

- ★認知症フレンドリーシティの拠点開設
市の取組みを集約し、最新の知見・技術等を提供するとともに、国内外に情報発信 7,927万円 (福祉)
- ★誰もが自分らしく遊べるインクルーシブな子ども広場整備
R7年度までに各区1か所整備に向け、R5年度は百道中央公園に整備 1億5,750万円 (住都)
- ☆重度障がい者等がICTを活用し自宅で就労できる取組み
遠隔操作するロボットを活用した就労の支援 1,945万円 (福祉)
- ☆重度障がい者等就労支援の制度の拡充
支援対象に自営業者を追加、通勤や職場における支援を拡充 1,079万円 (福祉)
- ・障がい者の工賃向上を支援
企業への業務開拓や障がい者施設への受注支援を行うセンターを通じた支援 4,973万円 (福祉)
- ☆民生委員をサポートする支援員を全市展開
相談対応や同行訪問を実施 5,288万円 (福祉)
- ★防災をきっかけとした地域活動メニューを提供
自治会等に講師を派遣するなど、防災をきっかけとして地域活動の再開・活性化を支援 243万円 (市民)
- ★野良猫・多頭飼育の猫の不妊去勢手術支援
殺処分ゼロを目指し、手術支援を試行的に実施 870万円 (保医)